拘禁中の負傷職工の悲慘な事實を證據に

8、検事正の公平な判断を俟つ

東京辯護士團の一行

神戸勞働爭議に關し十二日神戸法廷に有志と共に縣廳に出陣出動其他の取締方針を質問し又光行檢事正を訪問に赴いた東京辯護士團有志は其調査經過につき在神辰治氏から下の如く發表した

光行檢事正は既に吾人が東京出發以前に司法省で了解を得てゐたからでもあつたが隔意なく意見を陳べ又助言を述べて呉れました檢事正は拔刀に對しては十分法の命ずる處に據べ決して警官でも不問に附するやうな片手落はせぬと言明されました檢事正も拔刀は廿九日の暴擧に十八名、廿日に數名あつた事を認めてゐるが斬られた者は

神戸の勞働爭議は 8、 爭の不德の致す所

併し日本の學者は日本のことも西洋のことも知つてゐない

松方氏伯林で談る

（十一日發）

松方幸次郎氏を訪ひ川崎造船所の爭議に關し其意見を聞く氏は曰く

目下滯在中の事件は無事解決したから別に言ふことはないが此不祥事を引起したのは予の不德の致すところであるから一般の日本特に神戸市に對し申譯ないことであるし又之によつて世界に對し日本の體面を傷けたことも遺憾である、之に就いて今後なすべきことさへあれば何事をでも致す積りである、然し川崎造船所はこの職工を優遇してゐるのは世界でも稀である

ここ云つて多くを語らなかつたので特に細目の問題を質へ意見を聞ひたに過ぎないが、大體の印象をいへば

職工に對しては今日の狀態では十分の待遇をしてゐるものゝやうであつたが氏は曰く

日本の學者は日本のことも西洋のことも知らない、日本に資本家があるこゝへ關連ひだ、私達は銀行からの借金と工場の利益の差でやつて食つてゐる社長は遲く出て早く歸るこゝ思はれてゐるか知らんが日曜祭日に働いてゐるのだ

ここ云ひながら起きたばかりの寢衣の間から毛々たる脚を突き出しながら大言壯語すれこ其實內心は餘程ビク〳〵たるものがあるやうに見受けた。それより轉じて職工の優遇問題に就き語るところがあつたが是も書いてくれなこ發表を封じた

伯林客舍に語つた 松方社長の意見

川崎造船所程職工を優遇して 居る所は世界にも稀だこ 8、12 物語しながら內心ビク〳〵

十一日伯林特派員發

伯林滯在中の松方幸次郎氏を訪ひ川崎造船所の爭議に關し意見を聞くたのに對し「事件は無事解決したから別に言ふ事は無いが此不祥事を惹き起したの は予の不德の致す所であるから一般の日本特に神戸市に對して申譯無い事である、また是によつて世界に對し日本の弱點を暴露したこと も遺憾であるこれに就て今後爲すべき事さへあれば何事でも致す積りである」と云ふ程の簡單な發表を封じた大體の印象を言へば職工に對しては今日

十分の 待遇をして居る

ものと確信してゐる樣であつたが氏は曰く日本の學者は日本のことも西洋の事も知らぬ日本に資本家があると云ふは間違ひだ私達は銀行からの借金と工場からの利益の爲めにやつと食つてゐる社長は遲く出て早く歸らんと盲はれてゐるか知らんが日曜祭日抜きに働いてゐるのだ」と云ひながら起きたばかりの寢衣の間から便々たる脚を突き出しつゝ大言壯語はすれど其實內心では餘程ビク〳〵してゐるやうに見えた、それより轉じて獨逸の造船業に就て意見を求めたのに氏は今後は發達に非常な望みを囑し一本一千五百馬力のが四十個足らずで出來てゐる上から外國は勿

寢衣の 間から便々

競爭に ならぬと

に獨逸造船業に於ける勞資關係に就て語る所があつたがこれも書いて呉れるなと發表を封じた

放縱の 態度を執つて

たが七月十一日に至つて示威運動は俄然激化して氷屋、果物屋等で掠奪を行つて日に〳〵增長して來たので已むなく先づ示威運動を禁止しなければならなくなつた、次に十三日に至つて傭の工場管理を宣言して事實上工場を占領したので工場を閉鎖する必要と示威運動を鎭壓する必要上遂に軍隊の出動を仰いだが夫れでも未だ屋外集會は

勞働者 の便宜を思つて

許して置いた所が二十九日、三十日の大爭鬪を敢起する事になつたので已むを得ず最後に屋外集會の禁止をも發する次第になつた、私としては一點の過ちもないと信じてゐる、二十九日三十日の暴動は警官抜劍をしなければ到底警官自身の安全が計られなかつた事と極めて居るから此の爲めに如何な問題が起つても十分

申開き の出來る自信が

ある、勿論是等の處置は皆地方長官としての自分一個の考へから出たもので全責任は一切自分が負ふ覺悟である、併し自分としては十分の自信を以て行つた事で今後爭

過激な 行動は愼しんで

的を達する所以でない事、日本の國狀に全然相容れない直輸入の生な思想を無くして貰ひたい事で、資本家も日本の勞働運動の眞因が理論になく感情にある事を悟つて平生から十分勞働者の思想惡情を知悉して適當に指導すると同時にイザ問題の起つた場合には十分勞働者に意志を述べさせて無下に斥ける樣な事をしない樣にして貰ひたいものだ」

拔劍の全責任は 8、14 知事が一人で引受ける

有吉氏八時間に亙つて 大爭議を內相に報告す

ゲツソリ痩せてホツと一と息

十二日發神戸勞働爭議の報告の爲め上京した有吉兵庫縣知事は四十數時間の殆んど寢ずの日も續き監督に心を勞いてゲツソリした頬を撫で乍ら

大爭議 するにも午前八時から午後四時迄も掛つた位で私の苦心も一通りではなかつた」とホツとして語を繼ける「最初は御存しの通り比較的秩序嚴然とした運動であつたなかつたので特に細目の問題を撫でて意見を問ひ質したのにこれは書いて呉れるなと言ふ事は無いが此印象を言へば職工に對しては今日の狀態は

待遇をして居る

ものと確信してゐる樣であつたが氏は曰く日本の學者は日本のことも西洋の事も知らぬ日本に資本家があると云ふは間違ひだ私達は銀行からの借金と工場からの利益の爲めにやつと食つてゐる社長は遲く出て早く歸らんと盲はれてゐるか知らんが日曜祭日抜きに働いてゐるのだ」と云ひながら起きたばかりの寢衣の間から便々たる脚を突き出しつゝ大言壯語はすれど其實內心では餘程ビク〳〵してゐるやうに見えた、それより轉じて獨逸の造船業に就て意見を求めたのに氏は今後は發達に非常な望みを囑し一本一千五百馬力のが四十個足らずで出來てゐる上から外國は勿論

競爭に ならぬと

に獨逸造船業に於ける勞資關係に就て語る所があつたがこれも書いて呉れるなと發表を封じた

放縱の 態度を執つて

たが七月十一日に至つて示威運動は俄然激化して氷屋、果物屋等で掠奪を行つて日に〳〵增長して來たので已むなく先づ示威運動を禁止しなければならなくなつた、次に十三日に至つて傭の工場管理を宣言して事實上工場を占領したので工場を閉鎖する必要と示威運動を鎭壓する必要上遂に軍隊の出動を仰いだが夫れでも未だ屋外集會は

勞働者 の便宜を思つて

許して置いた所が二十九日、三十日の大爭鬪を敢起する事になつた